

ITU-T SG15 WP1 会合 課題別対処方針

資料 2-伝-1-SG15-WP1-Q1-課対	Q.1 対処方針
資料 2-伝-1-SG15-WP1-Q2-課対	Q.2 対処方針
資料 2-伝-1-SG15-WP1-Q4-課対	Q.4 対処方針

I T U - T 会 合 へ の 課 題 別 対 処 方 針
(会 合 名 : I T U - T S G 1 5 / W P 1 会 合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Coordination of Access Network Transport standards
Q.1		和訳	アクセス網標準化の調整
	ラポータ名 (所属)		John Jay (Corning, 米) 、横谷哲也(三菱電機、日本)
課題の内容：			
<p>他の標準化組織との意見交換を通してアクセス網標準化概要及び動向一覧を作成及び更新すると共に、ホームネットワーク関連のSG15における責任課題として役割も担う。</p>			
これまでの経緯：			
<p>他の標準化組織からのリエゾンに基づきアクセス網標準化概要及び動向一覧における検討範囲やコンタクトパーソン等の各種情報をそれぞれ更新している。ホームネットワークについては、ITU-T内外の国際標準規定を検討し、それらの規定相互の関連づけを明確にすることを目的としたトランスポートレイヤの汎用ホームネットワークアーキテクチャ仕様であるG.9970を勧告化し、その詳細規定であるG.hntreqの勧告化を予定している。</p>			
今会合での主な検討項目：			
<p>G.hntreqについて、SG16等ITU-T内他SGやBBF等関連外部団体からのリエゾンを検討し、回答リエゾンを作成し送出する。</p>			
他SG、他機関との関連：			
<p>ITU-T SG16とは、サービスレイヤにおける汎用ホームネットワークアーキテクチャ仕様H.622との整合を図る。 ITU-T SG12からはQoS関連技術について、BBFやHGIからはホームゲートウェイを含むホームネットワーク端末管理について、リエゾンを通して意見交換を行う。</p>			
注意すべき諸外国の動向：			
不明			
提出寄書：			
<p>対処方針： <input checked="" type="checkbox"/>A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/>B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/>C:静観 G.hntreqへのリエゾン応答。</p>			

勧告案一覧

勧告番号	種別	勧告名 (日本語名)	関連文書番号 (更新時期)	合意予定 時期	エディタ (所属国)	対処及び今国会での課題
G.hntreq	新規	Requirements of transport functions in IP home network (IPホームネットワークにおける伝達機能の要求条件)	C-210 (2008/12)	未定	吉田龍彦、 横谷哲也 (日本)	対処方針はA エディタを三菱電機とNTT とが確保しており、日本が 中心となってリエゾンに対 する応答案を作成する。

(注) 種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。

I T U - T 会 合 へ の 課 題 別 対 処 方 針
(会合名： I T U - T S G 1 5 / W P 1 会 合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Optical systems for access networks
Q.2		和訳	アクセス網における光システム
	ラポータ名 (所属)		Frank Effenberger (Huawei、中国)、可児淳一 (NTT、日本)
<p>課題の内容：</p> <p>G-PONを中心に、光アクセスシステム全般に関する勧告を検討する。</p>			
<p>これまでの経緯：</p> <p>G-PON(G.984シリーズ)やMC(G.985等)を中心に勧告化を推進している。G-PONについては仕様の勧告化はほぼ完了しており、互換性向上のための機能の追加やOMCI仕様の改訂、及びMCを含む次世代光アクセスシステムに向けた円滑な移行手法が主要議題として検討されている。</p> <p>前会合では、G-PONのOMCIインプリメンターズガイドのAgreement等、G-PON装置の互換性向上に向けて検討が進んだ。TTC仕様に基づく1G-MC勧告G.gbeは、制御管理手法についてIEEEとの意見調整が必要なためコンセンサスが延期された。</p>			
<p>今会合での主な検討項目：</p> <p>10G-PONについては、エディタの指名や勧告草案の作成など、実質的な審議が行われる。また1G-MCも含めた汎用OMCIの検討開始提案を支持する。</p> <p>今会合でSupplementとして合意される予定の「G-PON省電力化技術の白書」に対して、内容の充実化を図る提案を行う。</p> <p>1G-MC勧告G.gbeは、IEEE802.3からの回答を基に、次回のSG15会合でのコンセンサスに向けた検討を行う。</p>			
<p>他SG、他機関との関連：</p> <p>10G-PONの要求条件などは、FSANでの検討結果を反映して作成する。</p>			
<p>注意すべき諸外国の動向：</p> <p>特になし。</p>			
<p>提出寄書：</p>			
<p>対処方針： <input checked="" type="checkbox"/>A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/>B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/>C:静観</p> <p>汎用OMCI検討開始提案支持。</p> <p>省電力化技術白書の充実化に向けた提案。</p> <p>TTC仕様1G-MCのG.gbeとしての勧告化に向けた合意形成。</p>			

勧告案一覧

勧告番号	種別	勧告名 (日本語名)	関連文書番号 (更新時期)	合意予定 時期	エディタ (所属国)	対処及び 今会合での課題
G.984.1	改正	Gigabit-capable Passive Optical Networks (GPON): General characteristics (G-PONの一般的特性)	TD 508R1 (PL) (2008/2)	未定	F. Effenberger (中国) 中西健治 (日本)	B: 今会合では議論の予定なし。
G.984.2	改正	Gigabit-capable Passive Optical Networks (GPON): Physical Media Dependent (PMD) layer specification (G-PONの物理層仕様)	TD 506R1 (PL) (2008/2)	未定	F. Effenberger (中国) P. solina (イタリア)	B: 今会合では議論の予定なし。
G.984.3	改正	Gigabit-capable Passive Optical Networks (GPON): Transmission convergence layer specification (G-PONのTC層仕様)	TD32 (PL) (2008/12)	2008/12	D. Khotimsky (米国) F. Effenberger (中国)	B: クロック配信 (Phase / time synchronization) 機能の追加検討
G.984.4	改正	Gigabit-capable Passive Optical Networks (GPON): ONT management and control interface specification (G-PONのOMCI仕様)	TD16R4 (PL) (2008/12)	2008/12	D. Hood (米国) F. Effenberger (中国)	B: 新規サービス、インバンド、WT-167対応、相互接続推進など
G.984.5	改正	Gigabit-capable Passive Optical Networks (G-PON): Enhancement band (G-PONの拡張波長帯域)	TD418R2 (PL) (2007/6)	未定	矢島祐輔 中西健治 (日本)	B: 今会合では議論の予定なし。
G.984.6	改正	Gigabit rate Passive Optical Network reach extension (G-PONの長延化規定)	TD 510R1 (PL) (2008/2)	未定	F. Effenberger (米国) M.Rasztovits (ドイツ)	B: 今会合では議論の予定なし。
G.985	改正	100 Mbit/s point-to-point Ethernet based optical access system (100Mb/s MC)	TD32 (PL) (2008/12)	2008/12	可児淳一 (日本) F. Bourgart (フランス)	B: 今会合では議論の予定なし。
G.gbe	新規	1 Gbit/s point-to-point Ethernet based optical access system (1Gb/s MC要求条件)	TD70 (WP1) (2008/12)	2009/10	長谷川一知 門脇真 可児淳一 (日本)	A: TTC で検討中の 1Gb/s MC仕様のITU-Tでの勧告化を図るための提案。
G.987.1	新規	(10G-PON一般的特性)	—	2009/10	未定	
G.987.2	新規	(10G-PON物理層仕様)	—	2009/10	未定	
G.987.3	新規	(10G-PON TC層仕様)	—	2010/6	未定	
G.987.4	新規	(10G-PON OMCI規定)	—	2010/6	未定	

(注) 種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。

ITU-T 会合への課題別対処方針

(会合名：ITU-T SG15/WP1会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Transceivers for customer access and in-premises networking systems on metallic conductors
Q.4		和訳	メタリック線によるアクセス伝送装置及び宅内ネットワーク用送受信器
	ラポータ名 (所属)		Richard Stuart (米国 Infineon)

課題の内容：アクセス伝送装置(ADSL、VDSL)、及び宅内ネットワーク(有線系)向け送受信器に関する審議を行う。

これまでの経緯：

2月に開催された中間会合(Q4/15th -th会合)及び3月、4月に開催されたG.hn用の中間会合にて主に以下の項目についての議論がなされた。

【ADSL 関連】非対称デジタル加入者線送受信機 (Asymmetric Digital Subscriber Line Transceivers)

昨年12月SG15会合にてコンセントされたG.992.3(ADSL2)統合版(Amendment 1~6)に対するLCコメントの解決を行った。LCコメントは解決され、現在AR期間中(4/1~4/21)。

【G.hs 関連】デジタル加入者線送受信機のためのハンドシェイク手順

(Handshake procedures for digital subscriber line transceivers)

昨年12月SG15会合にてコンセントされたG.994.1(G.hs) Amendment 3に対してNTTからLCコメントを提出(*1)。コメントは解決され、3月勧告化終了。

(*1) G.992.3(ADSL2), G.992.5(ADSL2plus)Annex Cへの追加仕様をサポートするためのハンドシェイクの手順記載漏れ(編集時のチェック漏れ)を指摘

【G.ploam 関連】デジタル加入者線(DSL)送受信機のための物理層管理

(Physical layer management for digital subscriber line (DSL) transceivers)

昨年12月SG15会合にてコンセントされたG.997.1(G.ploam)統合版(Amendment 1~4)に対するLCコメント(*2)の解決を行った。LCコメントは解決され、現在AR期間中(4/1~4/21)。

(*2) コメントはG.992.3(ADSL2), G.992.5(ADSL2plus)Annex Cへの追加仕様をサポートするための物理層管理の文章表現についてInfineon社から提出されたものを含む。

【G.inp 関連】Impulse Noise 関連

2月中間会合に加え、3月25日に電話会議を開催し、ADSL、VDSL双方への適用に共通して必要な仕様について議論。これを土台に今会合でのコンセントを目指す。

【G.vector 関連】FEXT Cancellation 関連

次回SG15会合でのコンセントを目指す。

【G.lt 関連】媒体試験関連

昨年12月SG15会合にてコンセントされたG.996.2に対するLCコメントの解決を行った。今会合でも継続してコメント解決及びAmendment1(DELT(両端試験)仕様、MELT(多端試験)仕様)のコンセントを目指す。

【G.Int 関連】 Link 層／PHY 層間インタフェース

昨年 12 月 SG15 会合にてコンセントされた G.999.1 に対する LC コメントの解決を行った。今会合でも継続してコメント解決を目指す。

【G.hn 関連】 次世代汎用ホームネットワーク送受信機

- ・ 中間会合において、日本向け Annex C の改正が提案されている。この提案は、G.9960 Amd に盛り込まれる予定であり、引き続き改正内容の充実が図られることとなっている。
- ・ また、G.cx については、IEEE との協調を前提とした共存仕様（PLC）の充実化が進められている。
- ・ 今会合では、引き続き G.hn の DLL（特に MAC 層）に関連する仕様凍結に向け審議が進められる。
- ・ また、前回会合でコンセントされた G.9960（G.hn Foundation 勧告）の LC コメント解決に向けた審議も継続される。
- ・ 中間会合での審議を踏まえると、今会合では、上述したように G.9960 Amd1 コンセントに向けた動き、及び G.hn MAC 層に関する仕様コンセントの動きあり。

今会合での主な検討項目：

上述の通り

他 S G、他機関との関連：

BBF（DSL、及び G.hn の測定系関連）、IEEE（G.hn との共存関連）

注意すべき諸外国の動向：

G.hn に関する FT 等の動き

提出寄書：

Panasonic 提案の G.cx 関連寄書「Request to mandate G.cx feature in G.9960 (G.hn) operating over a powerline medium」への連名を予定。なお、提出寄書概要は別途 Panasonic から提示予定。

対処方針： A:達成すべき事項あり B:達成すべき事項なし C:静観

G.cx

上記提出寄書にある提案内容の合意に向け、積極的に審議に加わる。

G.9960(G.hn) Amd 1 勧告草案

一部機能が Amendment としてコンセントされる可能性があり、積極的に審議に加わる。

G.hn(DLL仕様他)勧告草案

MAC 仕様がコンセントされる可能性があり、その動向把握に努める。

上記以外のプロジェクトについては今会合では「C：静観」。

勧告案一覧

勧告番号	種別	勧告名 (日本語名)	関連文書番号 (更新時期)	合意予定 時期	エディタ (所属国)	対処及び今会合での課題
G.993.2 Amd 5	改正	Very high speed Digital Subscriber Line 2 (VDSL2)	-	2009/10	Les Brown (米)	C
G.996.2 Amd 1	改正	Line Testing for Digital Subscriber Lines (DSL) (DSLのラインテスト)	-	2009/5	Marcos Tzannes (米)	C
G.inp	新規	Impulse Noise Protection (インパルス雑音軽減)	-	2009/5	Les Brown (米)	C
G.vector	新規	Self FEXT cancellation (遠端漏話除去)	-	2009/10	Frank Van der Putten (ベルギー)	C
G.992.3 Amd 1	改正	Asymmetric Digital Subscriber Line Transceivers 2 (ADSL2)	-	2009/10	Frank Van der Putten (ベルギー)	C
G.992.5 Amd 1	改正	Asymmetric Digital Subscriber Line Transceivers 2 -Extended bandwidth (帯域拡張 ADSL2)	-	2009/10	Frank Van der Putten (ベルギー)	C
G.994.1 Amd 4	改正	Handshake procedures for digital subscriber line transceivers (ハンドシェイク手順)	-	2009/10	Miguel Peeters (ベルギー)	C
G.997.1 Amd 1	改正	Physical layer management for digital subscriber line (DSL) transceivers (物理層管理仕様)	-	2009/10	Miguel Peeters (ベルギー)	C
G.999.1 Amd1	改正	Link Layer to PHY Layer Interface (Link層/PHY層間インタフェース)	-	2009/10	Massimo Sorbara (米)	C
G.hn (DLL関連 仕様)	新規	Next generation home networking transceivers (次世代ホームネットワ ーク送受信機)	-	2009/10	Les Brown (米)	B
G.9960 Amd 1 (G.hn)	改正	Next generation home networking transceivers (次世代ホームネットワ ーク送受信機)	-	2009/10	Les Brown (米)	B G.9960に対する新機能のコン センストに関して、積極的 に審議に加わる
G.cx	新規	Co-existence of Home Networking implementations (ホ ムネットワークにおける 共存仕様)	-	2009/10	Les Brown (米)	A G.hnに対する必須仕様とな る提案の合意に向け積極的 に審議に加わる

(注) 種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。